

多田富雄 三回忌追悼能公演

第四回 INSLA 講演会

「なふ、我は生き人か、死に人か」

命とは生とは、そして死とは何かを問う新作能

無明の井

多田富雄 新作能



基調講演 『生命と動的平衡』

生物学者 福岡 伸一

対 談 『多田富雄の新作能をめぐって』

能楽シナリオリスト 柳澤 新治
演出家 笠井 賢一

多田富雄 新作能 『無明の井』

脳死の男の霊 野村 四郎
移植をうけた女の霊 片山九郎右衛門

4月21日(土) 午後2時半開演

於 国立能楽堂

主催 INSLA | 自然科学とリベラルアーツを統合する会

(同時開催) 4月21日(土)~28日(土) 於 Sandites(サンドリーズ)

私のガラクタ美術館 | 多田富雄所蔵 古美術・十能面展

多田富雄 三回忌追悼公演 第四回 INSLA 講演会

免疫学の泰斗であり、詩人・新作能作者としても多くの作品を遺した多田富雄の三回忌祥月命日に、**脳死・臓器移植のテーマで大きな反響を呼んだ新作能『無明の井』**を新演出で上演する。

講演は生命の本質を「動的平衡」というキーワードで捉える気鋭の生物学者 福岡伸一による「生命と動的平衡」そしてNHK能の番組制作者のキャリアを持つ柳澤新治と、**演出家の笠井賢一**が多田富雄の新作能の意義を語る。

第一部 (2時30分開演)

基調講演『生命と動的平衡』

対談 『多田富雄の新作能をめぐって』

休憩 15分

第二部 (4時頃)

多田富雄 新作能『無明の井』

前シテ 漁夫の霊
後シテ 脳死の男の霊
後ツレ 移植をうけた女の霊
ワキ 里女
アイ 旅僧

永遠のいのち、あくなき生への執心か
静かな諦念、死への寛容か

荒野の酒れ井戸に永遠の命の水を求める女と、それを汲ませまいとする男の争い。
男は嵐で溺れた脳死状態の漁夫で、女はその男の心の臓を移植されて生き延びた乙女であった。
中国古代の名医扁鵲の「胸を割き心を探り、易へて置き、投ぐるに神華を以てすれば、即ち覚めてつねなるがごとしを本説(異説)とし、最も今日のな問題 脳死・臓器移植の是非を、いのちとはなにかを根源的に問いかける新作能。

生物学者 福岡 伸一
柳澤 新治
演出家 笠井 賢一

野村 四郎
片山九郎右衛門
森 常好
山本泰太郎
松田 弘之
大倉源次郎
亀井 広忠
小寺真佐人
浅井 文義
小早川 修
岡田 麗史
柴田 稔
馬野 正基
浅見 慈一
谷本 健吾
清水 寛二
後見 真州
演出 笠井 賢一



多田富雄 1934年、茨城県結城市生まれ。東京大学名誉教授。野口英世記念医学賞、エミール・ドゥラント賞、朝日賞、小林富雄賞など受賞。免疫と自己との関係を哲学的に捉え直す新たな視点を出し、自然科学を越境する地平を拓いた。それとともに新作能の作者として臓器移植をテーマにした『無明の井』、アイシユタインの相対性理論と原子力を取り上げた『三石仙人』、夫を自身に強制連行され韓国に残された妻の老後を描いた『望根歌』、また『原爆三忌』(長崎の聖母)・沖繩残月記という戦争三部作など、今日のなテーマで新作能の歴史に新たな世界を加えた。脳梗塞に倒れてからは詩人・能作者・文筆家としてとてくる間際まで著作活動を続け、社会的弱者としてリハビリ制限の医療政策に対して抗議署名活動を展開。現代の危機感からINSLA(自然科学とリベラルアーツを統合する会)を立ち上げ、講演・公演活動を行ってきた。

福岡伸一 1959年、東京生まれ。生物学者。京都大学卒、青山学院大学教授。分子生物学の最先端での研究を一般に解りやすく解説した数々の著作活動を展開。「生物と無生物のあいだ(サンポート)学芸賞」『動的平衡』、『フルメル 光の王国』『動的平衡』など、著書多数。近刊の岡川和子さんの共著『センスオブ・ワンダー』を著してのなかで、生命の全体性の視点から脳死についても言及し、理系と文系を繋ぎ合わせる新しい生命学をめざしたいと発言している。

柳澤新治 1936年生まれ。能楽シヤーナリスト。名古屋大学法政学部政治学科卒。元NHK古典芸能番組ディレクターとして能狂言放送を長く担当し、『無明の井』もNHKで録音放送した。現在豊田市能楽堂企画アドバイザー、執筆活動・DVD制作を続ける。著作に『横から見た能狂言』『北七大夫の陣』ほか、当地新作狂言台本に『安土城のインソフ』(大久保彦左衛門の夢)など。

野村四郎 1936年、東京生まれ。観世流シテ方。東京芸術大学名誉教授。日本能楽会会長。和泉流評価された。その優れた表現力と後進への的確な指導力には定評がある。芸術選奨文部大臣賞、芸術院賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞など受賞。

片山九郎右衛門 1964年、京都生まれ。観世流シテ方。片山幽雪・九世片山九郎右衛門の長男。父・八世観世流の丞に師事。父と共に片山定期能楽会を主宰。全国各地で多数の公演に出演するほか、海外公演にも積極的に参加。また斬新な企画力も併せ持ち、これからの能界を担う存在として期待される。文化庁芸術祭新人賞、日本伝統文化振興財団賞を受賞。

2012年4月21日(土) 午後2時開場 / 2時30分開演

会場：国立能楽堂 (渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)
電話：03-3493-1331

入場料：S席 12,000円
A席 10,000円
B席 7,000円
C席 6,000円
学生 4,000円

主催：INSLA
お申込：アトリエ花習

電話：090-9676-3798
03-5688-2810
http://atelierkashu.com/

私のガラクタ美術館

多田富雄所蔵 古美術・能面展

日時：4月21日(土) 21日(日)
12時～19時(21日)、22日のみ11時より
会場：Sundries(サンダリーズ)
港区南青山4-10-15 電話：03-5411-0799

『多田富雄 新作能全集(仮)』

藤原書店より4月刊行予定

